

各 位

上場会社名 株式会社協和日成
 代表者 代表取締役 社長 北村 眞隆
 (コード番号 1981)
 問合せ先責任者 取締役 経理部長 佐々木 秀一
 (TEL 03-3464-0121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,730	170	175	120	10.42
今回発表予想(B)	13,329	△22	△4	3	0.35
増減額(B-A)	△401	△192	△179	△117	
増減率(%)	△2.9	—	—	△97.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,100	680	700	400	34.72
今回発表予想(B)	29,700	190	240	140	12.15
増減額(B-A)	△3,400	△490	△460	△260	
増減率(%)	△10.3	△72.1	△65.7	△65.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	32,346	667	776	389	33.85

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,650	160	162	90	7.81
今回発表予想(B)	12,195	△16	14	42	3.68
増減額(B-A)	△455	△176	△148	△48	
増減率(%)	△3.6	—	△91.4	△53.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	14,376	236	267	259	22.54

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,500	640	650	350	30.38
今回発表予想(B)	27,200	150	200	140	12.15
増減額(B-A)	△3,300	△490	△450	△210	
増減率(%)	△10.8	△76.6	△69.2	△60.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	31,155	656	726	337	29.27

修正の理由

(1) 連結業績

連結業績予想数値の修正につきましては、主に個別業績の修正によるものであります。

(2) 個別業績

第2四半期累計期間の業績につきましては、主要取引先の設備投資計画に伴う受注は堅調に推移したものの、昨年来の景気低迷に伴い不動産・建設業界においては依然として新築需要が著しく減少しており、住宅着工件数にも回復の兆しが見られない中、ガス・給排水衛生設備新設工事については、受注競争の一層の激化により、低価格での受注を余儀なくされました。

この結果、売上高につきましては当初予想の12,650百万円に対して455百万円減少し、12,195百万円になる見込みであります。利益面につきましては上記に記載しましたとおり、低価額受注を余儀なくされたことにより、利益率が減少したため、営業利益は当初予想160百万円に対して176百万円減少し、営業損失16百万円、経常利益は当初予想162百万円に対して148百万円減少し、14百万円、純利益は当初予想90百万円に対して48百万円減少し、42百万円になる見込みであります。

通期の業績予想につきましては、景気悪化に対する底打ち感はあるものの、第2四半期累計期間までの厳しい状況が下期以降も大きな変化なく続くことが想定されるため、上記のとおり修正いたします。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

*平成21年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期第2四半期の連結実績は記載しておりません。

以 上